

全日本中学校長会総会会長就任あいさつ

日時 平成28年5月26日(木) 午前10時

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター  
カルチャー棟 大ホール

全日本中学校長会会長 榎本 智司

ただいま、全日本中学校長会第40代会長としてご承認いただきました、東京都新宿区立新宿中学校の榎本智司でございます。新役員を代表して、一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、東日本大震災から5年を経た本年4月、熊本地震が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、被災された皆様方に心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

本日ここに、皆様のご賛同を得て大役を仰せつかりましたことは、身に余る光栄に存じます。何分微力ではございますが、誠心誠意、会長としての任務を果たしてまいる所存でございますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

この1年間、全日本中学校長会のためにご尽力くださいました伊藤俊典会長をはじめ副会長、理事、そして幹事の皆様、本当にありがとうございました。また、お疲れ様でございました。

さて、会長就任にあたり、改めて本会の意義を確認いたしました。全日本中学校長会会則に本会の目的として「全国各都道府県中学校長会相互が緊密な協調を保ち、中学校教育の振興を図り、国家社会の発展に寄与すること」と謳っております。さらには、会長の任務として、「本会を代表して会務を統理する」とあります。

すなわち、全日本中学校長会は、我が国の中学校教育の充実発展を図り、会長は全国の中学校長会相互の緊密な協調を図り、それをまとめていくということが求められるということです。そして、これを全うしていくためには、副会長はじめ各理事の皆様、更にはすべての会員の皆様のご理解・ご支援が不可欠です。ぜひ、皆様のお力添えをお願いいたします。

ここで、当面、全日本中学校長会として取り組んでまいりたいと考えていることを3点述べさせていただきます。

第1点目は、教育改革の推進であります。社会は大きく変化しています。このような中、教育再生実行会議の諸提言、義務教育学校などの制度構築、道徳の教科化、チーム学校やコミュニティ・スクールの推進等、さまざまな教育改革に向けた動きがありました。また、次期学習指導要領については、今年度中を目途に中央教育審議会として答申が出され、その後告示され、中学校では平成33年度から全面実施の予定になっています。ますます、教育改革が加速化されることが予想されます。

また一方では、いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題への対応、特別支援教育の充実、ICTの活用をはじめ、複雑かつ多様な課題に対応することも求められています。このような時期を迎え、全日本中学校長会として、我々一人一人が積極果敢に教育改革に取り組み、充実した学校経営を推進していきたいと考えております。

第2点目は、「全日中教育ビジョン」の推進であります。全日本中学校長会は、平成21年10月に全日中教育ビジョン「学校からの教育改革」を提示・公表しました。そして、平成25年3月に続き、本年3月に全国の校長先生方からもご意見を伺いながら、二度目の改訂版を発行しました。

「第3章 全日本中学校長会からの10の提言」として、全日中が今後3年をめどに取り組むべき具体的目標を明らかにしています。ぜひ今後、新しく設定した提言も参考に更なる教育改革に取り組んでいきたいと考えております。

第3点目は、全国の中学校長会と緊密な連携・協調を重視した組織運営の推進であります。申し上げるまでもなく、中学校教育を巡る課題が山積しております。課題には全国の中学校に共通のものと各地区、自治体ごとに個別に抱えるものがあります。冒頭で申し上げましたように、5年前には東日本大震災、そして本年4月には熊本地震が発生しました。ご自身やご家族が被災された校長先生方もいらっしゃいます。また、被災地において教育の正常化に向けて、ご尽力いただいている多くの校長先生方がいらっしゃいます。被災地の一日も早い復興と教育の正常化に向け、全日本中学校長会として一丸となって今後も支援をまいります。特に、熊本地震により甚大な被害が発生いたしました。伊藤会長からも先ほど話がありましたが、全日本中学校長会として熊本県中学校長会に対する義援金を募ることを昨日の理事会で決定しました。是非、ご理解をいただきご協力をお願いいたします。このような各地区、自治体ごとに抱える課題について、各ブロックの副会長、各都道府県の理事、事務局とも連携し、全日本中学校長会として支援をまいります。

また、学習指導要領の改訂に向けた対応、学力向上、いじめ、不登校、部活動など、全国の中学校に関わるさまざまな課題については、全国の中学校の校長先生方の英知を結集し、その解決に当たっていききたいと考えます。更には、教育諸条件の整備・充実、教職員の待遇改善等についても全国の状況を把握し、皆様方の声も反映させながら文部科学省をはじめ政府関係機関に対して意見具申や要請をまいります。

全日中教育ビジョンの最後に、『「しなやかでたくましい校長」でなくてはならない。校長の「しなやかさ」とは包容力と対応力である。校長の「たくましさ」とは確固とした信念に基づく判断力と誰をも引き付ける表現力、誰よりも早く的確に社会情勢の変化に気付き、先を見通す力である。』とあります。実践もあり理論もある有言実行の教育の実践的専門家集団である全日本中学校長会として、我々一人一人が積極果敢に教育改革に取り組み、中学校教育の更なる発展充実を図っていききたいと考えております。

結びになりますが、これまでの歴代会長はじめ諸先輩方が築かれ継承されてこられましたことを受け継ぎ、全日本中学校長会会長として皆様とともに歩んでいくことをお誓い申し上げ、就任のあいさついたします。これから一年間、どうぞよろしく願いいたします。